

「小学校につながる確かな学びの基礎を培う幼児教育」



園長室だより

城南学園幼稚園 園長 太田友子 令和5年10月3日



実りの秋！ 地域の皆さまに感謝です



本園は、地域の方から畑をお借りして、さつまいもを育てていただいています。先日、お土産として持ち帰りましたが、お味はいかがでしたか？

子どもたちは苗植えを5月に行い、その後1.2回の水やりをするだけ。後は、地域の方のお世話で、毎年見事なさつまいもを育てていただいています。幼稚園のために無農薬で、除草剤も使用していないとのこと。子どもたちは地域の宝、どれほど大切に思っていたか伝わります。有難く思うばかりです。

さつまいもは ぜんぶでなんこ？

年少	86	91	92	269
年中	107	105	116	328
年長	161	185	175	521
				1118

今年は、1118個のさつまいもを掘りました。実りの秋、豊作に感謝です。



10月14日(土)は運動会です。

残暑が厳しい中、子どもたちは元気に「運動会ごっこ」を楽しんでいます。

今年は、制限のない運動会です。温かなまなざしとマナーあふれる運動会になるよう、ご協力をお願いいたします。

「かがくタイム」参観の感想 一年中児保護者一

- ・入園した時を思い出すと考えられなかった、手を挙げて発言する姿にとっても驚きました。
- ・恥ずかしがることが多いので、最後に感想を言うときに手を挙げて発言していたことにとっても驚きました。成長していてこちら嬉しい気持ちになりました。
- ・かがくタイムの先生が、一人一人の話を丁寧に聞いて下さっていたのがとても印象的でした。娘も終始リラックスした顔をしていて楽しそうで、私もとても嬉しかったです。
- ・一人一人に空気砲の箱を用意してもらって思う存分活動ができていました。また、発言する時間を作り、子どもの言葉に耳を傾けて下さっていたので、自分で考える力も育てられているように感じました。何より楽しそうな姿を見ることができました。ありがとうございました。

本園では、あらゆる教育活動の中に、「子どもの声を聴く」を意識し、「子どもが表現する」活動を取り入れています。言語と思考、そして情緒がつながる、確かな学びの基礎を培っているところです。

さつまいもの数を数えよう！

「おいもさん」掘りの体験を生かして、全クラスで数量の概念を促す活動を実施しました。

それぞれの発達段階に即して、実際のさつまいもをカブラ(積み木)に置き換えて、具体的に並べたり揃えたり分けたりしながら、身近な数量を理解することをねらいとしています。その活動の様子をご紹介します！

年長児では、教師の「どうやって数えようかな？」の発問から、実に様々な子どもたちの考えが発表されます。



① まず並べてみて、10 ずつに分けて数える方法。年中児ではまずと並べたまま数えていくが、年長児になると、10 ずつのよさが分かる子が出てくる。



② まず、友達と 5 ずつに分けてから、5 と 5 とで 10 を作って、10、20、30、40、と1を数え上げている。数の概念が豊かになり、5 と 5 で 10 を上手に使っている。



③ 左の並べ方を見て、「うわあ、分かりやすい！」と教師が驚いて見せていた。この並べ方は、小学校1年生での十進位取り記数法につながるもので、十のかたまりと一のかたまりを意識した置き方になっているからである。

このように、本園では、小学校の学習を先取りするのではなく、その素地となる活動を大切にしています。

年少組では、大きな数を「いっぱい」で表現するので、先生と一緒に20以上の数を唱えながら数えています。年中組では、結果を予想する活動を加えながら20~50を唱えられるように促しています。年長組では、全体で話し合ったり、友達と協力して解決したりして、「学びに向かう力」を育てています。

また、年少児から、自分の気づきや思いを話す活動も取り入れているので、年中児、年長児になるにつれて、どの子も「皆の前で発表する」楽しさを感じるようになっていきます。「学びに向かう力」の第一歩は、「学び合いの楽しさ」を味わうことからだと考えているからです。